



# Chapter 03

## 17C 編入生

<b>01</b>	商学科で学ぶ学生の履修の仕方	48
<b>02</b>	履修制限	49
<b>03</b>	卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	50
<b>04</b>	演習科目	52
<b>05</b>	卒業見込証明書	52
<b>06</b>	カリキュラム	53



# 01 商学科で学ぶ学生の履修の仕方

## 商学コース

### 1. 情報システムモデル

商学科における情報関連科目は、ビジネスにおける業務活動を支えている情報技術とその利用に関する基礎知識・技術を学ぶために設置しています。すなわち、情報技術そのものの専門家養成を目的にしているのではなく、ビジネス活動に情報技術をどのように活用すれば良いかを考えることのできる能力の養成を目的にしています。したがって、ビジネスに関する知識と情報技術に関する知識の両方が必要になります。

### 2. 商品開発・広告・販売モデル

消費者は何を求めているのか、消費者ニーズを分析して売れる商品・サービスを創り、それをスムーズに消費者に届けるしくみについて考えるマーケティング関連科目、その商品を消費者に届けるためのしくみである流通について学ぶ流通関連科目を中心に履修します。販売士などの資格取得もサポートします。将来、消費財メーカーや流通企業を目指す人にはお勧めの履修モデルです。

### 3. 物流・交通モデル

企業活動や産業の発展に欠かせないヒトやモノの流れを最適化するために重要な交通・物流・ロジスティクスについて学ぶ物流・交通関連科目を設置しています。また、グローバル化に対応した貿易や国際物流、さらに生産者から消費者までの流通在庫や流通コストの最適化を目指すサプライチェーン・マネジメントなどの科目を中心に履修します。貿易実務検定C級などの資格取得もサポートします。製造業、流通業、貿易などの仕事に興味のある人にはお勧めです。

### 4. 金融・会計・簿記・財務モデル

商学科では、経営に欠かせない活動内容や成果の記録、資金調達ならびに運用の手段、方法についての知識を習得するために、金融・会計関連科目を設置しています。企業では、毎日繰返される営業活動を簿記により記録し、期末に会計報告書を作成します。すなわち、簿記または会計は、企業の中でのおカネの流れを学ぶ実践的な学問です。税理士、公認会計士などの資格取得を目標にすることもできます。また、金融関連科目は、おカネが不足している経済主体に、おカネを融通する制度や仕組みを学びます。金融・会計・簿記・財務モデルはこのようなおカネをめぐる問題を、マクロ的な社会経済の視点から、あるいはミクロ的な企業のレベルの視点から学ぶための履修モデルです。

## 02 履修制限

### 1 履修制限

17C編入生には以下の制限がありますので、注意してください。

#### 17C編入生に適用

1年間に履修できる単位数	最大48単位 ただし、以下の科目は除きます。 教員免許取得に係わる科目のうち、「教科に関する科目」の「職業指導」ならびに「教職に関する科目」および「教科又は教職に関する科目」※
学年による科目の制限	3年次:1~3年次の配当科目を履修することができます。 4年次:すべての開講科目を履修することができます。
科目履修上の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>■全員履修科目の「コンピュータ・リテラシ」(教育職員免許状を取得しようとする者は除く)、「表現力基礎演習」、「商学総合講座」、「入門演習A・B」および「演習基礎」は履修することができません。</li> <li>■「専門演習A」を修得していなければ、「専門演習B」を履修することはできません。「専門演習B」を修得していなければ「卒業研究」を履修することはできません。</li> <li>■「専門演習A・B」および「卒業研究」は、原則として同一教員でなければなりません。</li> </ul>
総合教育科目	卒業要件単位には算入されませんが、履修することは可能です。
選択必修科目	<p style="color: red;">専門基礎科目群から8単位以上を修得してください。</p> <p style="color: red;">専門基礎科目群の8単位を超えて修得した単位は選択科目の単位に入ります。</p>
選択科目	<p>選択科目は、54単位とする。</p> <p>①専門教育科目区分の専門基礎科目群より8単位を超えて修得した単位を卒業要件単位に組み入れることができます。</p> <p>②自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単位に組み入れることができます。</p>

※詳しい科目については教職課程ガイドブックを参照してください。

注)編入生は全員履修科目の「コンピュータ・リテラシ」(教育職員免許状を取得しようとする者は除く)、「表現力基礎演習」、「商学総合講座」、「入門演習A」、「入門演習B」および「演習基礎」は履修することができない。

### 2 未開講科目

カリキュラム表にある科目でも、本年度の時間割に載っていない科目については未開講となります。

## 03 卒業要件単位数(外国人留学生も共通)

### ① 卒業要件単位数

専門教育科目	選択必修科目	8単位	62単位	学士(経営学)
	選択科目(自由科目12単位を含む。)	54単位		
2年以上在学				

※総合教育科目を履修することはできますが、卒業要件単位へは加算されません。

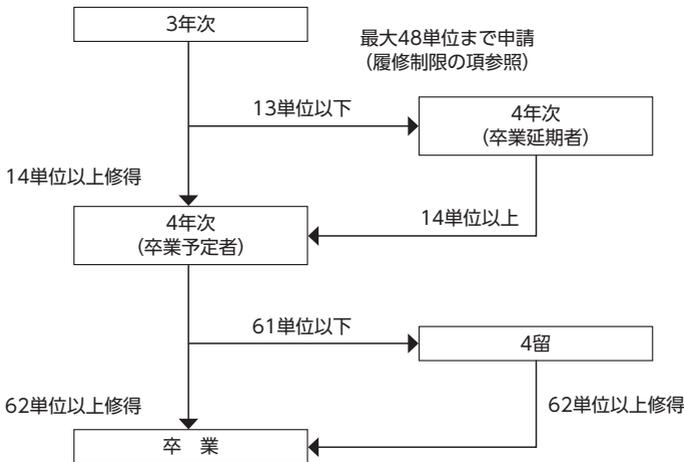
※12単位を超えて修得した自由科目は、卒業要件単位数に加算されません。

### ② 進級の条件

修得単位数にかかわらず、4年次まで進級できますが、年間48単位(教職科目等を除く。)を上限とする履修制限がありますので、計画的に修学してください。

また、進級するためには、1年を通じて在学していなければなりません。

#### 進級および卒業までの流れ



※卒業延期(4留)者においては、前期(半期)科目で卒業要件単位を修得した場合に限り、9月期卒業が可能となります。

### ③ 卒業要件単位の修得要件

#### ▶ 選択必修科目 (8単位)

学科基幹科目分野の専門基礎科目群より 8 単位以上を修得してください。8 単位を超えて修得した単位は、選択科目として卒業要件単位の算入することができます。

区分	科目名	単位数	備考
専門基礎科目	商学総論A 商学総論B 経営学総論A 経営学総論B 経済学総論A 経済学総論B 簿記A 簿記B ITビジネス概論	各2	左記より、4科目(8単位)を修得してください。

#### ▶ ② 選択科目 (54単位)

- ・学科基幹科目分野の専門基礎科目群より 8 単位を超えて修得した単位を卒業要件単位の組み合わせることができます。
- ・自由科目制度により修得した単位は、12単位を上限として、卒業要件単位の組み合わせることができます。

## 04 演習科目

演習とは、各自が興味を持ち、より深く研究したいと思う専門分野について、指導教員と共に論じ研究するための科目です。少人数で構成されるので、より詳細な研究とより親密な人間関係が形成され、大学生活の中で重要かつ有意義な科目のひとつです。

クラス分けは、希望を基にした選考を行います。定員数を超えた場合は、演習クラスの選択理由や成績等を考慮した上で、担当教員がクラス分けを行います。

科目名	配当年次	必/選	備考
専門演習A・B	3年次	選択	クラス発表は、12号館の掲示板で行います。
卒業研究	4年次	選択	「専門演習B」を修得していなければ、履修することができません。

※「専門演習A」を修得していなければ「専門演習B」は、履修することができません。

「専門演習A」および「専門演習B」および「卒業研究」は、同一教員で行います。

## 05 卒業見込証明書

「卒業見込証明書」は、3年次修了時点で既に卒業要件単位を14単位以上修得し、4年次において履修申請した科目を全部または一部修得すれば卒業できる者に対して発行します。(4月1日以降発行)

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、パピルスメイト証明書自動発行機(設置場所はP7を参照)を利用してください。





区分	科目	単位	履修コース		卒業資格 最低単位数 (選択必修8・ 選択54 合計62)	週 時 間 数								備 考
			商 学	ス ポ ー ツ キ ャ リ ア		1年次		2年次		3年次		4年次		
						前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	前 期	後 期	
専門教育科目 発展科目 商学総合科目	インターンシップ	2							2					◎ 全員履修科目
	商学総合講座	—					—							
	ビジネス総合講座	2										2		
	特殊講義 A	2												
	特殊講義 B	2												
合 計					62									

注) 専門教育科目の履修要件

備考欄中の◎印は単位認定科目とし、3年次後期(冬期休業開始まで)までに申し出た者は、学科の判断に基づき、単位認定を受けることができる。

※週時間数の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。

1年次は1年次の、2年次は1,2年次の、3年次は1,2,3年次の、4年次は1,2,3,4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。